

信号機のあれこれ

外販課 吉澤

通勤途中の交差点に最近、新たに信号機が設置されました。考えてみると信号機って増えるばかりだなあ…交通安全、事故防止の為に必須の信号機。

しかし、心の底では『また信号にひっかかったー』と嘆く事も多々あります。まるでその日の運勢を信号占いでいる方も少なくないはず。

そして信号待ちの車が多くなるという事はCO²排出が増えているという事。最近の車はアイドリングストップ機能が付いていますが、まだまだアイドリング状態で信号待ちする車も多いです。

信号増=事故減=CO²増=ひと時の休憩時間増（人によってはイライラ感増）
それでもやっぱり安全が最優先な訳です。



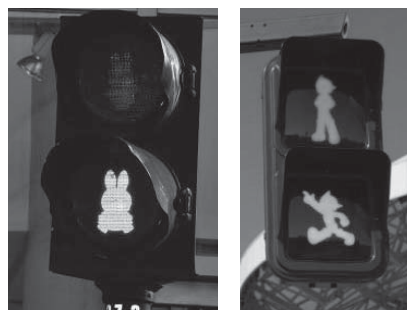
どこみてんのよ～

信号機の色

赤、黄、青…。なぜ青?? 緑でしょー。そーいや緑のりんごも『青りんご』。生い茂った緑の事も『青々しい』など、どうして緑を青って呼ぶの? 教えて! つねちゃん。



ドイツのアンペルマン



ミッフィーの信号

アトム 空をこえて～♪



ジャパーン

信号の管理はどこ?

信号機の管轄は警察です。信号機近辺の交通量調査より信号機設置の検討や赤信号の時間設定など警察が決めています。もし信号機のトラブルがあれば警察に連絡してください。

謎の信号変換機能

都心では渋滞は当たり前。しかし都心部を走るバスって停留所には時刻表通りピッタリ到着。分刻みで発着し遅れることはほとんどない。ん?なぜなぜ? 渋滞で遅れないの? これにはからくりがありました。バスの先端にレーダーみたいなものが付いており、それを信号機が事前にキャッチし、信号が変わるタイミングを調整しています。だからバスは赤信号に遭遇しにくいそうです。都心部ではバスより電車の利用客が圧倒的に多く、そのバランス改善の為、都市自治体、警察、交通局がバス利用客増を狙いシステム化したようです。

いーな、いーな。僕の車にも装着したい!!

毎日見ているはずなのに…

3つの色の信号機。あれ? 赤は右? 左? どっちだっけ? 真ん中は黄色! これは自信ある～。

毎日見ているのに記憶とはそんなものです。僕だけだったら残念。(涙…)
皆さんは即答できますう?

世界の信号

ドイツではアンペルマンというキャラクター、オランダにはミッフィーの信号。世界にはいろいろな信号があります。そして、日本にも…ありました! 日本らしい信号です。

最後に一句

信号機 見ればももクロ 思い出す

(桃色と紫色は?とツッコミはご遠慮ください)